

令和4年度鹿児島県高等学校水泳競技大会開催にあたって ～ 新型コロナウイルス感染拡大予防対策 ～

鹿児島県高等学校体育連盟水泳専門部

- (1) 本大会は有観客で実施するが、参加高校生1名につき、その親族（2親等以内）2名までとする。
※ 今後の感染拡大状況によっては急遽、無観客になる場合がある。
- (2) 大会参加者（選手・マネージャー・引率者・指導者・保護者・大会役員・競技役員・その他入館予定者）は大会参加当日において、以下の事項に該当する場合は入館できない。
 - 平熱を超える体温である（概ね37.5℃以上）
 - 咳、喉の痛みなどの風邪の症状
 - だるさ（倦怠感）、息苦しさがある
 - 味覚や嗅覚の異常
 - 体が重く感じたり、疲れやすかったりする
 - 新型コロナウイルス感染症陽性者と濃厚接触がある（濃厚接触者である）
 - 同居家族に新型コロナウイルス感染症陽性者や濃厚接触者がいる
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある※ ここで言う「濃厚接触者」とは保健所より「濃厚接触者」と特定された者のことを指す
- (3) 大会参加チームおよび観覧者は必ず「入館者一覧表」を提出すること。（当日健康チェックを兼ねる）また大会運営関係者は「健康チェックシート」を提出すること。
- (4) 今大会はADカードによる入場者コントロールを行うため、ADカードを携帯していない者の入館を認めない。また、ADカードは各チームで専用フォームより作成し、首から下げ、常時見える様にするとともに、複製や他人への譲渡および貸与、入館許可のない者のADカードの作成等、不正な行為は絶対に行わないこと。
- (5) **不織布マスク**を着用していない者は入館を認めない。選手も泳ぐ時以外は**不織布マスク**を必ず着用すること。
- (6) 館内のアルコール消毒ポンプが置いてあるところでは、必ず手指消毒を行うこと。
- (7) トイレを利用した際は、必ず備え付けのハンドソープで手を洗うこと。
- (8) 監督・引率者・コーチ等がウォーミングアップやクーリングダウン時に選手との会話や指示をする際は、マスクに加え、できるだけフェイスシールド・アイガード・ゴーグル等を着用し、眼からの飛沫感染を防ぐこと。またホイッスルは電子ホイッスルを使用すること。
- (9) 館内の動線については表示板や係員の指示に従うこと。（「会場内選手動線図」参照）
- (10) 唾や痰をプールサイドに吐かないこと。（レース直前のスタート台付近や、サブプールでの練習時）
- (11) 大会期間中、すべての場面において人との距離（最低1m）をとって行動すること。（特に朝の集合時）
- (12) 更衣室の利用は**短時間**とし、**しゃべらないこと**。また、**個人の荷物を置かないこと**。
- (13) 応援は大声を出さず、拍手・バルーンスティックで行うこと。（太鼓や鳴物等での応援は禁止）
- (14) **食事をする際は人との距離をとり、対面を避けて、黙食に務めること**。
- (15) 各チームでアルコール等の消毒剤を用意し、退館する際は必ず自分達の控え所および利用した観客席（その周辺も含む）の消毒を行うこと。また定期的な消毒にも努めること。
- (16) 会場までの移動の際は、マスクの着用、人との距離、座席間の距離、車内換気、会話等に留意すること。
- (17) 宿舎を要する場合でも感染症対策を怠らないようにし、特に部屋間の移動を極力避けること。
- (18) 大会終了後2週間は各自で健康チェックを行い、新型コロナウイルス感染症陽性者または濃厚接触者となった場合は必ず、本県体育連盟水泳専門部まで連絡をすること。
- (19) 新型コロナウイルス感染拡大状況によっては急遽、大会を中止・縮小する場合がある。